



このように、学習院初等科は、私立学校として独特の歴史を歩んできました。

学習院初等科は、今年で143年目を迎えます。今までに、政界や財界をはじめとして、各界で活躍している卒業生を多数輩出しています。

戦後再び私立学校となりました。明治17年に私立学校から官立学校(唯一の宮内省の学校)になり、戦後再び私立学校となりました。今年で143年目を迎えます。今までに、政界や財界をはじめとして、各界で活躍している卒業生を多数輩出しています。

学習院初等科の歴史



伝統を自らの礎とし 国際社会に貢献できる 人を育てる 学習院初等科



学習院初等科長
大澤隆之

歴史と伝統に育まれた人間教育

学習院初等科では、戦前の教え「質実剛健」、戦後の教え「正直と思いやり」に代表される「自重互敬」を大切にしています。

「正直」とは、誠実なこと、「思いやり」とは、相手の立場を大切に考えることができることです。

「質実剛健」は、「自重互敬」の精神を貫くのに大切な態度です。心も体も強くするため、自分を律する心、けじめをつける態度を育てています。

さて、それらの伝統を踏まえて作られたのが、初等科の

教育目標「真実を見分け、自分の考えを持つ子ども」です。細かいところまでよく観察し、その仕組みを知ろうとします。そして、自分の意見を持ちます。謙虚に人の考えを聞き、次第に自分の考えを固めていきます。

本校では、知識の獲得の仕方こそ大切だと考えています。いたづらに暗記させたり練習させたりするのではなく、じっくりと考えさせながら、疑問を持たせて自ら解決させ、知識を獲得させます。このようにして得られた知識は、生きた知識になります。生きた知識は、柔軟に活用できるのです。これこそが、「真実を見分け」の神髄である、本質を見抜く力となります。本校の「基礎基本」とは、本物

を知り本質を見抜く力なのです。

この学習を支えるのが学習院の教員です。全員が専門教科を持ち、研鑽を積んでいます。校内での研修だけでなく、学会や研修会によく参加し、研修講師を務めたり教科書や本の執筆をしたりする教師も多いのが特徴です。

真の国際化教育

学習院は、明治維新後、英国のパブリックスクールを手本にして作られた学校です。日本の伝統や精神の良さを大切にしつつ、欧州の文化や言葉を学んできました。

本校では、従来から日本人としてのアイデンティティを確立することが真の国際化に最も大事であると考え、日本語や日本の文化・伝統を知る授業に力を入れています。「さくら」の授業では、古典を読んだり俳句を作ったりします。また、礼法や茶道などの体験を通して、日本人が大切にしてきた心に触れます。

昨年、英国のチェルトナム・プレパラトリー・スクール、豪州のメソジスト・レディーズ・カレッジ、ザビエル校と交流をもち、児童の海外研修の準備を進めています。相手校3校とは相互理解のためお互いに教員が訪問し合っています。昨年、メソジスト・レディーズ・カレッジの児童17名が、初等科で2日間一緒に授業を受けました。

初等科の英語は3年生から始めますが、低学年ではまず正しい日本語でしっかり考えることができるようにすることに時間をかけ、3年生から国際交流を意識した英語の授業を行っています。

自重互敬とは...

「自重互敬」とは、第18代安倍能成学習院長(1883~1966)が常に学習院生に教えてきた、「自分を大切に、お互いを敬い思いやり」という精神です。自らの品性を保ち、お互いを敬うことを大切に代々続いてきた学習院初等科の教育の柱です。その精神は、初等科生活における指導の隅々にまで行きわたっています。教室のドアを開けてみれば、そこには自分の思いや考えを丁寧に語り、友だちの意見に心をこめて耳を傾ける子どもたちの瞳を見つけることができます。

また、何事も飾ることなく、本質に目を向けられる価値観を大切にしています。ふとした児童の会話や立ち居振る舞いからも、その一端を感じることができます。

令和3年度入試説明会

9/12(土) [14:00~15:00]

おいしくて 安全な学校給食

初等科では月1回のお弁当の日を除いて、児童は、3階の食堂で給食をいただいています。給食は、専任の調理師が、3階の厨房で旬の食材を使い調理しており、栄養のバランスのとれたもので、しかもおいしいと児童や父母にも好評を得ています。



給食の様子~1年食堂で~

安全・安心な 学校学習院初等科

校舎の防災対策、危機管理体制など安全面には万全を期しています。たとえば、児童が無事に登下校したか確認できる「さくらメール」、緊急時に保護者の方の携帯電話やPCへ一斉連絡できる「わかば通信」、24時間監視態勢のモニターカメラも設置しています。また、災害時に備え3日分の水・食糧、発電機、毛布、簡易ベッド、簡易トイレなどの備蓄もしています。



さくらメールをする1年生

生活指導上 特に留意していること

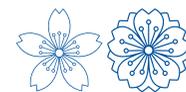
- 日常生活のしつけを重視して、自重互敬の精神を育てるようにしています。
- 毎月、月目標を教室に掲示して、月毎の生活指導に役立っています。
- 人に迷惑をかけず、人から受けた厚意に感謝し、正直で思いやりの心を持ち、それらが適切な言葉となり、行動となって実践できるように指導しています。
- 動植物の飼育・栽培・観察などによって豊かな心情を培うとともに、勤労の楽しさを体験しています。
- 広い校庭・近光園・愛育園・体育館・プール等を利用しての行事・運動・遊戯、また校外教育等によって、たくましい心と健やかな体の育成に努めています。
- 服装・所持品等は質実を旨とし、物を大切にすることを育てることに留意しています。



深さが調節できるプールで
(1年水泳授業)



四谷キャンパス内にある近光園



学習院初等科
GAKUSHUIN PRIMARY SCHOOL

〒160-0011 東京都新宿区若葉1-23-1
TEL 03-3355-2171(代) <https://www.gakushuin.ac.jp/prim/>